

議会市民懇談会報告書

平成28年4月18日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

一般会計予算決算常任委員長 伊藤 實
総務文教常任委員長 河野朋子

平成28年3月30日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成 28年 3月 30日 (水) 19:00 ~ 21:20

2 開催場所

埴生公民館

3 申請団体等名称

「埴生公共施設再編意見交換会」参加有志

4 参加人数 (市民)

70 人

5 テーマ

埴生公共施設再編について

6 担当議員名

(伊藤 實) (小野 泰) (河野朋子) (笹木慶之)
(下瀬俊夫) (中村博行) (松尾数則) (矢田松夫)
(中島好人) (大井淳一朗) (河崎平男) (長谷川知司)
(岡山 明)

7 懇談会次第

- (1) 主催者開会挨拶
- (2) 出席者挨拶
- (3) 修正案の提案理由説明
- (4) 意見交換会の経過説明
- (5) 意見交換（質疑応答）
- (6) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

◎ 一般会計予算決算常任委員長から、埴生地区複合施設の建設に係る用地購入費等の削除の理由の説明があった。

・埴生地区の大切な交流拠点として建設の必要性は十分理解しているが、場所の決定についての市民合意をどう捉えるかについての疑問、学校の隣接地に複合施設を建設することによる危険性、将来を見据えた埴生のまちづくりの観点から提案された場所について検討した結果、いま一度考え直す必要があるのではないか。当初の青年の家や、オートレース場の駐車場などを視野に、現在の場所を考え直してほしい。

◎ 埴生公共施設再編意見交換会参加有志の中村眞也代表より、これまでの意見交換会を含めての経過説明があった。

- ・平成24年9月30日第1回埴生地区による公共施設再編案作り協議会開催
- ・平成24年12月9日第2回目開催（オブザーバーとして市長ほか、4名参加）
- ・平成25年9月25日市政報告会（アンケートに基づき執行部の方針）
- ・平成25年10月22日第1回目の住民との意見交換会開催
- ・平成26年3月19日埴生小学校の耐震強度検査のため中断
- ・平成27年1月21日教育委員会の方針として、小中一体型の建設を埴生中学校の敷地にする方針が出される。
- ・平成27年5月20日小中学校の一体型の校舎建設に賛同が得られる。
- ・平成27年11月18日14回目、埴生中学校南側にて最終合意を得る。

◎ 場所の決定についての市民合意をどう捉えるか。

（市民）公募で行った協議会については権限があり、意見交換会で出た意見には権限がないのか。

（議員）意見交換会とは行政と皆さんとの意見の交換である。複合施設について議論してほしいということで公募などによる審議会に委嘱すると、出た結論については、行政側は尊重するということになる。

(市民) 市長との意見交換会を行って、皆の意見が「青年の家では危ない、大災害が起こった時には、避難できる場所に作ってくれ」というのが民意である。なぜその合意形成のやり方が悪いのか。

(議員) 青年の家はハザードマップの浸水地域ではないにもかかわらず、南海トラフの被害が想定されるということで建設場所が変わった。しかし、市民病院・給食センターなどは危険区域に建設することとなった。市の対応として整合性が取れていない、ダブルスタンダードではないかと議論した。

(市民) 津波のことを言われるが、津波だけではない、埴生支所を中心に市民が使う施設が集中している、埴生地区のまちづくりという観点から事を進めてほしい。

(議員) 市長は議会へ変更の一番の理由として災害を強調された。議会としては青年の家の土地を含め、市の財産を活用せず民地を買ってまで進める価値があるかどうかという事も含め議論している。複合施設の建設について反対しているのではなく、その位置決定について民意を確認している。

◎ 学校の隣接地に複合施設を建設する危険性について

(議員) 学校と複合施設の入口が1か所であり、通学路として児童生徒の安心・安全が確保できているのか疑問に思う。

(市民) 公民館や支所に毎日車が頻繁に出入りすることはない。一般道路の走行の感覚ではないということである。危険・危険と強調しすぎではないか。

(議員) わざわざ土地を購入して建設する場所にそういった危険、リスクがある場合は排除すべきである。より安全なものにしてほしいという思いで修正案を提出した。

◎ 将来を見据えた埴生のまちづくりの観点から、今後の行方について

(市民) 期限も含め、まちづくりを考える上でまちの中心、核がどこにあるのか考えてほしい。

(議員) 皆さんと更に意見交換しながら、どういう形で進めていくか、早急に取り組まなければいけない。その合意がクリア出来ればことは進むと考える。